

# 長期財政計画（財政見通し）

令和5年2月

登米市総務部

# 《 目 次 》

## 第1 財政健全化基本指針と長期財政計画

- 1 概要と推計方法 . . . . . 3
- 2 財政健全化基本指針 . . . . . 4
- 3 長期財政計画 . . . . . 4

## 第2 財政目標値

- 1 財政目標値 . . . . . 7
- 2 財政目標値の達成に向けた取組 . . . . . 8
- 3 目標達成に向けた推計値 . . . . . 10

## 第3 資料編

- 1 病院事業会計 長期財政計画（財政見通し） . . . . . 14
- 2 水道事業会計 長期財政計画（財政見通し） . . . . . 16
- 3 下水道事業会計 長期財政計画（財政見通し） . . . . . 18

# 第1 財政健全化基本指針と長期財政計画

## 1 概要と推計方法

### (1) 概要

財政健全化基本指針は、本市を取り巻く厳しい財政状況において、将来にわたり市民サービスが安定的に提供できる市政運営と、「持続可能な財政基盤の確立」や「次世代に大きな負担を残さない」健全な財政運営を目指すための指針となるものです。

長期財政計画は、国が示す地方財政対策や本市を取り巻く社会・経済情勢を踏まえ、第二次登米市総合計画実施計画に計上した事業を基本とし、平成30年度から令和9年度までの10年間の財政見通しを示すものです。

本計画は、策定時点における一定の前提条件のもとに推計していることから、策定及び更新（ローリング）に当たっては、歳入面では、令和5年度地方財政対策を基本として地方交付税や各種交付金等を見通すとともに、国・県支出金などの特定財源については、事業実施の見通しを踏まえ積算しています。

歳出面では、令和5年度予算計上額を基本として見通しておりますが、扶助費や公債費が依然として高水準であることに加え、多額の一般行政経費が見通されるなど、厳しい財政状況が見込まれます。

### (2) 推計方法

#### 【全 体】

- ・期間は、平成30年度から令和9年度までの10年間で推計  
(平成30年度から令和3年度までは「決算値」、令和4年度は2月補正予算見込値、令和5年度以降は推計値。)

#### 【歳 入】

##### ○市 税

- ・景気動向や課税客体の推移などを反映して推計

##### ○地方交付税

- ・国の令和5年度地方財政対策を基本として推計

##### ○国・県支出金

- ・第二次登米市総合計画実施計画に掲げた事業等を見通しを踏まえ推計

##### ○市 債

- ・各種施設整備などの普通建設事業費や未来のまちづくり推進基金の積み立てなどに充当するほか、臨時財政対策債については、地方財政対策を踏まえて推計

#### 【歳 出】

##### ○人件費

- ・令和5年度予算計上額を基本とし、職員給与費については定員適正化計画に基づき推計

##### ○扶助費

- ・令和5年度予算計上額を基本とし、児童手当給付費や生活保護給付費などの給付見通しについても考慮して推計

### ○公債費

- ・借入済地方債の償還見込みに加えて、新たに発行を見込んでいる地方債の償還見込みについても加えて推計

### ○一般行政経費

- ・物件費、維持補修費、補助費等について、令和5年度予算計上額を基本に推計

### ○繰出金

- ・令和5年度予算計上額を基本に、繰出先の特別会計における事業実施見通しについても考慮して推計

### ○投資的経費

- ・令和5年度予算計上額と総合計画実施計画に計上した普通建設事業費などを見込み推計

## 2 財政健全化基本指針

本市の財政状況は、地方交付税の大幅な減額などの影響により、これまで以上に厳しい財政状況が続くと見込まれており、将来にわたり市民サービスが安定的に提供できる市政運営を行うためには、効率的な行財政運営の取組を一層推進する必要があります。

このことから、次の基本指針を踏まえ、健全な財政運営を目指します。

- ◎ **効果的な行財政運営の構築と持続可能な財政基盤の確立を図るため、適正な財政規模への移行と地方債残高の抑制に向けた取組を推進します。**
- ◎ **財政負担の軽減を図るため、公共施設の最適な配置により維持管理・更新等に係る経費の削減と予算の平準化に向けた取組を推進します。**

## 3 長期財政計画

長期財政計画は、財政健全化基本指針を踏まえ、次の会計の10年間の財政収支見通しを策定します。

また、本計画は、策定時点における一定の前提条件のもとに推計したものであるため、国における制度改正や各年度の決算等を踏まえ、毎年度更新（ローリング）を行い、必要に応じて計画を見直します。

- 一般会計
- 病院事業会計
- 水道事業会計
- 下水道事業会計

長期財政計画（令和5年2月策定時における推計値）

一般会計

（1）財政規模の推移

【歳入】

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
市税	7,850	7,731	7,754	7,656	7,400	7,534	7,436	7,433	7,378	7,237	
地方交付税	20,907	18,817	16,530	17,377	16,856	16,909	16,842	16,796	16,699	16,649	
国・県支出金	9,472	8,504	18,016	12,596	10,496	8,216	8,384	8,391	8,562	8,580	
地方債	8,030	6,370	4,120	2,982	2,882	2,494	4,063	3,973	3,420	3,473	
その他	7,885	8,330	8,255	8,178	9,543	8,373	7,403	7,573	7,425	7,640	
合計	54,144	49,752	54,675	48,789	47,177	43,526	44,128	44,166	43,484	43,579	

（単位：百万円）

【歳出】

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
義務的経費	7,595	7,544	7,688	7,658	7,794	7,871	7,772	7,759	7,721	7,684	
人件費	7,206	7,450	7,484	9,210	8,239	7,492	7,489	7,490	7,495	7,503	
扶助費	6,841	5,494	4,834	4,878	5,093	4,798	4,624	4,614	4,602	4,577	
公債費	21,642	20,488	20,006	21,746	21,126	20,161	19,885	19,863	19,818	19,764	
小計	12,238	12,784	23,062	16,261	17,738	15,654	14,756	14,838	14,017	14,089	
一般行政経費	5,182	5,014	3,183	3,130	2,458	2,462	2,470	2,477	2,479	2,480	
繰出金等	12,233	7,871	5,053	3,092	3,505	3,282	4,886	4,926	4,897	4,858	
投資的経費	1,518	1,266	2,333	3,333	2,350	1,967	2,131	2,062	2,273	2,388	
その他	52,813	47,423	53,637	47,562	47,177	43,526	44,128	44,166	43,484	43,579	
合計	41.0%	43.2%	37.3%	45.7%	44.8%	46.3%	45.1%	45.0%	45.6%	45.4%	

（単位：百万円）

（※1）2018（H30）から2021（R3）は決算値、2022（R4）は2月補正予算見込値、2023（R5）以降は推計値。

（※2）2022（R4）以降は地方債と公債費は借換債を除く。

【歳入】－【歳出】

(単位：百万円)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
歳入歳出差引額	1,331	2,329	1,038	1,227	0	0	0	0	0	0	
財政調整基金積立額	1,648	563	844	434	604	404	404	404	304	304	
財政調整基金取崩額	2,044	1,230	504	851	1,484	1,117	727	941	956	1,029	
財政調整基金残高	5,795	5,128	5,468	5,051	4,171	3,458	3,135	2,598	1,946	1,221	

(2) 地方債現在高の推移

(単位：百万円)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
一般会計	51,351	52,629	52,278	50,712	48,857	46,686	46,263	45,773	44,761	43,842	
特別会計	28,296	27,581									
企業会計	18,651	19,316	45,685	43,808	42,349	40,496	39,227	37,862	36,911	35,847	
合計	98,298	99,526	97,963	94,520	91,206	87,182	85,490	83,635	81,672	79,689	

(3) 主な財政指標

(単位：%)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
経常収支比率	90.8	93.5	93.9	93.2	92.9	89.8	90.2	90.4	90.4	91.3	
実質公債費比率	7.4	7.1	7.2	7.1	7.7	8.7	9.7	10.1	9.9	9.7	
将来負担比率	95.7	101.5	83.1	69.0	67.3	60.0	57.8	58.0	59.7	61.0	

【経常収支比率】 人件費、扶助費、公債費など、容易に縮減できない義務的経費や、物件費、維持補修費、補助費等の消費的経費に、市税や普通交付税等の経常的な一般財源がどの程度充当されているかを測定するもので、市にあっては80%を超えると財政構造の弾力性が失われつつあるといえます。

【実質公債費比率】 一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する割合で、25%以上になると起債の借入が制限されます。

【将来負担比率】 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模（臨時財政対策債発行可能額を含む。）に対する割合で、350%以上になると起債の借入が制限されます。

## 第2 財政目標値

### 1 財政目標値

本市を取り巻く厳しい財政状況のなかで、財政運営の健全性を確保するため、財政健全化基本指針のもと5年後、10年後の財政目標値を次のとおりとし、目標達成に向けた取組を推進します。

#### 【 財政目標値 】

区 分	2022 (R4) 財政目標値 上段 H30 計画策定時	2027 (R9) 財政目標値 上段 H30 計画策定時	参考 2021 (R3) 決算値
	☒ (下段 R5 現在 推計値)	☒ (下段 R5 現在 推計による目標値)	
財政規模	424 億円程度 ( 472 億円 )	377 億円程度 ( 432 億円 )	476 億円
地方債年度末残高	540 億円程度 ( 489 億円 )	502 億円程度 ( 438 億円 )	507 億円
財政調整基金年度末残高	25 億円程度 ( 41 億円 )	25 億円程度 ( 25 億円 )	51 億円
経常収支比率	97.4%程度 ( 92.9% )	90.5%程度 ( 91.2% )	93.2%
実質公債費比率	10.7%程度 ( 7.7% )	10.7%程度 ( 9.7% )	7.1%

☒ 表中下段の数値は、令和5年度の推計値「長期財政計画(令和5年2月策定時における推計値)」を基にして推計した、「目標達成に向けた推計値(令和5年2月策定時)」の各区分における数値である。

## 2 財政目標値の達成に向けた取組

財政目標値の達成のため、重点的に次の取組を実施します。

- ◎ 財政健全化基本指針と長期財政計画に基づく持続可能な財政運営
- ◎ 財政健全化に向けた行財政改革の推進
- ◎ 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の最適な配置
- ◎ 事務事業の抜本的な見直し

### (1) 歳入確保の取組 ～安定した財源の確保～

#### ○市税等の収納率向上と未収入債権の回収促進

市税等の口座振替の促進などにより、収納率の向上に努めます。さらに、滞納処分の強化と未収入債権の回収促進に向けた取組を行います。

また、独自課税の導入に向けた研究を進めてまいります。

#### ○市税等の収入増に向けた取組

市内産業の育成と企業立地・企業誘致の促進に向けた取組を行います。

#### ○遊休財産の売却と有効活用

処分可能な遊休財産は、売却や貸付け等を積極的に推進します。

### (2) 歳出抑制の取組 ～経費の節減・合理化～

#### ○予算編成における経費削減の徹底

予算編成において、政策的経費、一般行政経費ともに、経費の徹底した見直しを行います。

#### ○「選択と集中」による事務事業の取組

事業の効果や緊急性など優先的に取り組むべき事業の選択と集中を図り、事業費の平準化を図ります。

#### ○公共施設等の適正な配置と計画的な管理

公共施設等は、施設の老朽化や利用状況、施設維持管理費等を勘案しながら、将来的な施設需要を見据え、統廃合や施設譲渡などの検討を行います。

### (3) その他財政健全化に向けた取組

#### ○特定目的基金の有効活用

特定目的基金は、事業の目的に応じて積極的に活用します。

#### ○公営企業の経営健全化

公営企業は、独立採算制の観点から一層健全な経営に努めます。

- ・病院事業は、「登米市病院事業中長期計画（H28～R 7）」に基づき、経営改善に向けた取組を行い、資金収支の改善を図ります。
- ・水道事業は、「登米市地域水道ビジョン」に基づき、効率的な事業運営に努め、経営基盤の強化を図ります。
- ・下水道事業は、「登米市下水道事業経営戦略」に基づき、更なる経営の効率化を図り、安定した事業運営に取り組みます。

### 3 目標達成に向けた推計値（令和5年2月策定時）

#### 一般会計

##### （1）財政規模の推移

###### 【歳入】

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
市税	7,850	7,731	7,754	7,656	7,400	7,534	7,454	7,451	7,396	7,255	
地方交付税	20,907	18,817	16,530	17,377	16,856	16,909	16,842	16,796	16,699	16,649	
国・県支出金	9,472	8,504	18,016	12,596	10,496	8,216	8,373	8,361	8,512	8,512	
地方債	8,030	6,370	4,120	2,982	2,882	2,494	4,063	3,973	3,420	3,473	
その他	7,885	8,330	8,255	8,178	9,543	8,373	7,339	7,426	7,194	7,332	
合計	54,144	49,752	54,675	48,789	47,177	43,526	44,071	44,007	43,221	43,221	

（単位：百万円）

###### 歳入確保の取組 ～安定した財源の確保～

- 市税等の収納率向上と未収入債権の回収促進
- 市税等の収入増に向けた取組
- 遊休財産の売却と有効活用

###### 市税や使用料及び手数料など歳入確保に向けた取組を重点的に行う。

- ※第4次行財政改革大綱の実施計画（実行プログラム）、財政健全化中期行動計画による歳入確保の取組
- ◇市税は収納率向上等に取組みつつ、社会情勢等の影響による減を抑制して推計
- ◇国・県支出金の確保に取組みつつ、財政規模の削減により減額で推計
- ◇その他は、財政規模の削減により減額で推計

###### 【歳出】

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
義務的経費	7,595	7,544	7,688	7,658	7,794	7,871	7,772	7,759	7,721	7,684	
人的経費	7,206	7,450	7,484	9,210	8,239	7,492	7,489	7,490	7,495	7,503	
公債費	6,841	5,494	4,834	4,878	5,093	4,798	4,624	4,614	4,602	4,577	
小計	21,642	20,488	20,006	21,746	21,126	20,161	19,885	19,863	19,818	19,764	
一般行政経費	12,238	12,784	23,062	16,261	17,738	15,654	14,649	14,629	13,654	13,630	
繰出金等	5,182	5,014	3,183	3,130	2,458	2,462	2,470	2,477	2,479	2,480	
投資的経費	12,233	7,871	5,053	3,092	3,505	3,282	4,886	4,926	4,897	4,858	
その他	1,518	1,266	2,333	3,333	2,350	1,967	2,181	2,112	2,373	2,489	
合計	52,813	47,423	53,637	47,562	47,177	43,526	44,071	44,007	43,221	43,221	
※義務的経費の割合	41.0%	43.2%	37.3%	45.7%	44.8%	46.3%	45.1%	45.1%	45.9%	45.7%	

（単位：百万円）

###### 歳出抑制の取組 ～経費の節減・合理化～

- 予算編成における経費削減の徹底
- 「選択と集中」による事務事業の取組
- 公共施設等の適正な配置と計画的な管理

###### 一般行政経費など歳出抑制に向けた取組を重点的に行う。

- ※第4次行財政改革大綱の実施計画（実行プログラム）、財政健全化中期行動計画による歳出抑制の取組
- ◇一般行政経費は物件費、補助費等の抑制によりR6から減額で推計
- ◇その他は対象経費の削減に取組みつつ、財政規模の増加抑制で推計

【歳入】－【歳出】

(単位：百万円)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
歳入歳出差引額	1,331	2,329	1,038	1,227	0	0	0	0	0	0	
財政調整基金積立額	1,648	563	844	434	604	404	404	404	304	304	
財政調整基金取崩額	2,044	1,230	504	851	1,484	1,117	602	684	565	510	
財政調整基金残高	5,795	5,128	5,468	5,051	4,171	3,458	3,260	2,980	2,719	2,513	

(※1) 2018 (H30) から2021 (R3) は決算値、2022 (R4) は2月補正予算見込値、2023 (R5) 以降は推計値。

(※2) 2022 (R4) 以降は地方債と公債費は借換債を除く。

(2) 地方債現在高の推移

(単位：百万円)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
一般会計	51,351	52,629	52,278	50,712	48,857	46,686	46,263	45,773	44,761	43,842	
特別会計	28,296	27,581									
企業会計	18,651	19,316	45,685	43,808	42,349	40,496	39,227	37,862	36,911	35,847	
合計	98,298	99,526	97,963	94,520	91,206	87,182	85,490	83,635	81,672	79,689	

(3) 主な財政指標

(単位：%)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
経常収支比率	90.8	93.5	93.9	93.2	92.9	89.8	90.2	90.4	90.3	91.2	
実質公債費比率	7.4	7.1	7.2	7.1	7.7	8.7	9.7	10.1	9.9	9.7	
将来負担比率	95.7	101.5	83.1	69.0	67.3	60.0	57.7	57.9	59.7	60.9	

(4) 長期財政計画と目標達成に向けた推計値との比較

①財政規模

(単位：百万円)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
長期財政計画	52,813	47,423	53,637	47,562	47,177	43,526	44,128	44,166	43,484	43,579	
目標達成に向けた推計値	52,813	47,423	53,637	47,562	47,177	43,526	44,071	44,007	43,221	43,221	
差額	0	0	0	0	0	0	△ 57	△ 159	△ 263	△ 358	

42,405 ※前期目標値

37,725 ※後期目標値

②地方債年度未残高

(単位：百万円)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
長期財政計画	51,351	52,629	52,278	50,712	48,857	46,686	46,263	45,773	44,761	43,842	
目標達成に向けた推計値	51,351	52,629	52,278	50,712	48,857	46,686	46,263	45,773	44,761	43,842	
差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

53,976 ※前期目標値

50,234 ※後期目標値

③財政調整基金年度未残高

(単位：百万円)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
長期財政計画	5,795	5,128	5,468	5,051	4,171	3,458	3,135	2,598	1,946	1,221	
目標達成に向けた推計値	5,795	5,128	5,468	5,051	4,171	3,458	3,260	2,980	2,719	2,513	
差額	0	0	0	0	0	0	125	382	773	1,292	

2,509 ※前期目標値

2,501 ※後期目標値

④経常収支比率

(単位：%)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
長期財政計画	90.8	93.5	93.9	93.2	92.9	89.8	90.2	90.4	90.4	91.3	
目標達成に向けた推計値	90.8	93.5	93.9	93.2	92.9	89.8	90.2	90.4	90.3	91.2	
差額	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	

97.4 ※前期目標値

90.5 ※後期目標値

⑤実質公債費比率

(単位：%)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
長期財政計画	7.4	7.1	7.2	7.1	7.7	8.7	9.7	10.1	9.9	9.7	
目標達成に向けた推計値	7.4	7.1	7.2	7.1	7.7	8.7	9.7	10.1	9.9	9.7	
差額	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

10.7 ※前期目標値

10.7 ※後期目標値

⑥将来負担比率

(単位：%)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
長期財政計画	95.7	101.5	83.1	69.0	67.3	60.0	57.8	58.0	59.7	61.0	
目標達成に向けた推計値	95.7	101.5	83.1	69.0	67.3	60.0	57.7	57.9	59.7	60.9	
差額	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.0	△ 0.1	

### 第3 資料編

- 1 病院事業会計 長期財政計画（財政見通し）
  
- 2 水道事業会計 長期財政計画（財政見通し）
  
- 3 下水道事業会計 長期財政計画（財政見通し）

1 病院事業会計 長期財政計画（財政見直し）

病院事業会計

(1) 収益的収支の状況（損益計算）

(単位：百万円)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
病院事業収益	7,001	7,110	7,790	8,207	7,750	7,577	7,609	7,544	7,505	7,565	
医業収益	5,720	5,938	5,872	6,023	5,949	6,436	6,431	6,414	6,412	6,420	
医業外収益	1,081	1,015	1,527	2,142	1,783	1,123	1,137	1,114	1,086	1,142	
うち長期前受金戻入	103	191	270	341	373	365	386	364	337	393	
特別利益	201	157	391	42	18	18	41	15	6	3	
病院事業費用	7,603	7,960	7,828	7,591	7,798	8,117	7,835	7,764	7,750	7,784	
医業費用	7,221	7,221	7,238	7,320	7,474	7,808	7,512	7,474	7,436	7,497	
給与費	4,721	4,782	4,672	4,744	4,670	4,982	4,732	4,732	4,732	4,732	
材料費	861	674	638	644	726	691	681	681	681	681	
経費	1,138	1,232	1,237	1,245	1,365	1,402	1,381	1,408	1,408	1,408	
減価償却費	472	499	673	673	680	702	689	624	586	647	
資産減耗費	12	17	7	4	8	6	6	6	6	6	
研究研修費	18	17	11	10	24	24	23	23	23	23	
医業外費用	252	295	319	271	324	310	323	290	313	287	
特別損失	129	444	270	0	0	0	0	0	0	0	
当年度純利益（△損失）	△ 602	△ 850	△ 38	616	△ 48	△ 540	△ 226	△ 220	△ 245	△ 219	
前年度繰越利益剰余金（△欠損金）	△ 15,102	△ 15,704	△ 16,554	△ 16,592	△ 15,976	△ 16,024	△ 16,564	△ 16,790	△ 17,010	△ 17,255	
当年度未処分利益剰余金（△欠損金）	△ 15,704	△ 16,554	△ 16,592	△ 15,976	△ 16,024	△ 16,564	△ 16,790	△ 17,010	△ 17,255	△ 17,474	

(2) 資本的収支の状況

(単位：百万円)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
資本的収入	3,071	1,944	1,297	901	1,107	1,045	1,266	759	1,085	815	
出資金	363	318	304	398	375	435	398	346	320	325	
企業債	2,478	1,381	669	100	234	239	573	184	477	185	
補助金	0	0	55	30	71	0	0	0	0	0	
投資返還金	8	2	27	22	34	0	0	0	0	0	
負担金	222	242	242	348	393	371	295	229	288	305	
寄附金	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
資本的支出	3,072	1,940	1,130	900	1,197	1,171	1,330	810	1,114	1,135	
建設改良費	2,681	1,476	604	167	361	275	605	239	520	221	
投資（貸付金）	28	18	6	5	5	15	23	30	30	30	
償還金	363	446	521	729	831	881	702	541	563	884	R9長期借入金 300百万円返済
資本的収支の差	△1	4	167	1	△ 90	△ 126	△ 64	△ 51	△ 29	△ 320	

(3) 企業債残高と一般会計繰入金 (単位：百万円)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
企業債残高	5,998	6,964	7,142	6,544	5,978	5,367	5,237	4,880	4,794	4,395	
一般会計繰入金	2,075	2,102	2,005	2,181	2,190	2,092	1,978	1,859	1,891	1,919	
収益的収入	1,490	1,541	1,459	1,436	1,423	1,286	1,285	1,284	1,283	1,289	
資本的収入	585	561	546	745	767	806	693	575	608	630	

(4) 業務の状況 (単位：人)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
患者数	319,791	314,309	286,917	286,068	281,081	297,675	298,634	296,908	296,690	296,032	
入院延べ患者数	94,848	106,221	102,719	100,744	98,389	112,942	114,440	114,440	114,440	114,754	
入院1日平均患者数	260	290	281	276	270	309	314	314	314	314	
外来延べ患者数	224,943	208,088	184,198	185,324	182,692	184,733	184,194	182,468	182,250	181,278	
外来1日平均患者数	922	867	758	766	752	760	758	754	750	746	

(5) 経営分析 (単位：%)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
病床利用率	68.4	74.2	76.9	75.4	73.6	83.9	85.2	85.2	85.2	85.2	
医業収支比率	79.2	82.2	81.1	82.3	79.6	82.4	85.6	85.8	86.2	85.6	
給与費比率	64.9	62.8	72.5	72.0	72.7	69.8	68.8	69.0	69.0	68.9	決算統計数値
一般会計繰入金比率	26.0	26.0	24.8	23.8	23.9	20.0	20.0	20.0	20.0	20.1	

- 【病床利用率】 入院延べ患者数／延べ病床数 × 100
- 【医業収支比率】 医業収益／医業費用 × 100
- 【給与費比率】 給与費(児童手当、会計年度任用職員以外の報酬、退職給付費(引当金繰入額含む)を除く)／医業収益 × 100
- 【繰入金比率】 収益的収入繰入金／医業収益 × 100

注) 各表において、表示単位未満を四捨五入により表示しているため、計数が符合しない場合がある。

(6) 資金不足の状況 (財政健全化法) (単位：百万円)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
当年度資金収支額	△333	70	459	607	178	△78	68	45	△257	51	R8借入返済算入 (R9:300百万円)
年度末資金不足額	△1,086	△1,016	△557	(51)	(228)	(150)	(218)	(263)	(6)	(57)	
資金不足比率 (%)	18.9	17.1	9.4	—	—	—	—	—	—	—	

注) 年度末資金不足額は、不足額を負数で表示し、剰余額を括弧書きで表示している。

## 2 水道事業会計 長期財政計画（財政見通し）

### 水道事業会計

#### (1) 収益的収支の状況（損益計算）

（単位：百万円）

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
A. 水道事業収益	2,432	2,434	2,454	2,445	2,384	2,357	2,307	2,291	2,274	2,265	
うち給水収益（※）	2,071	2,055	2,084	2,055	2,030	1,999	1,962	1,944	1,928	1,916	
B. 水道事業費用	2,369	2,413	2,421	2,422	2,521	2,718	2,537	2,562	2,524	2,549	
うち人件費	200	184	185	156	153	170	190	194	197	200	
うち委託料	508	476	516	552	551	558	570	564	570	570	
うち資本費	1,308	1,386	1,398	1,387	1,337	1,380	1,408	1,436	1,391	1,414	
うち維持修繕費	186	192	165	177	235	313	219	218	217	216	
C. 利益or損失=A-B	63	21	33	23	△ 137	△ 361	△ 230	△ 271	△ 250	△ 284	

注：（※）給水収益は現行の料金体系で算定

#### (2) 資本的収支の状況

（単位：百万円）

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
D. 資本的収入	1,250	820	697	371	852	1,110	1,064	1,240	1,499	2,185	
企業債	771	438	372	218	443	614	514	808	903	1,227	
負担金・補償金・補助金	327	203	168	68	229	269	201	191	191	191	
出資金	136	167	147	77	172	220	340	232	396	458	
加入金	16	12	10	8	8	7	9	9	9	9	
その他資本的収入										300	
E. 資本的支出	2,264	2,059	1,755	1,280	1,919	2,316	2,230	2,381	2,650	3,072	
建設改良費	1,563	1,061	1,022	479	1,087	1,487	1,461	1,682	1,985	2,444	
企業償還金	701	698	733	801	832	829	769	699	665	628	
他会計貸付金		300									
F. 資本的収支の差=D-E	△ 1,014	△ 1,239	△ 1,058	△ 909	△ 1,067	△ 1,206	△ 1,166	△ 1,141	△ 1,151	△ 887	

#### (3) 企業債残高と一般会計繰入金

（単位：百万円）

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
G. 借入資本金（企業債残高）	12,159	11,899	11,538	10,954	10,581	10,366	10,111	10,220	10,458	11,057	
H. 一般会計繰入金	180	207	185	116	208	252	373	264	427	488	
a. 収益的収入	44	40	38	39	36	32	33	32	31	30	
b. 資本的収入	136	167	147	77	172	220	340	232	396	458	

(4) 業務の状況

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
①給水人口 (人)	78,820	77,444	76,889	75,369	74,213	73,675	72,867	71,899	70,959	70,017	
②有収水量 (千m <sup>3</sup> )	7,792	7,712	7,834	7,707	7,589	7,534	7,408	7,344	7,283	7,239	
③給水件数 (件)	30,172	30,065	30,155	30,167	30,000	30,000	29,902	29,815	29,729	29,645	
④職員数 (人)	28	26	26	23	23	25	25	25	25	25	
a 損益勘定職員 (人)	23	21	21	18	18	20	20	20	20	20	
b 資本勘定職員 (人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	

(5) 経営分析

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
供給単価 (円・銭)	265.81	266.52	266.02	266.60	267.49	265.33	264.83	264.78	264.74	264.68	
給水原価 (円・銭)	272.89	278.89	275.01	277.79	295.69	325.98	308.55	314.22	311.69	316.51	
経常収支比率 (%)	102.7	101.3	101.3	101.4	95.6	86.7	90.9	89.4	90.1	88.9	
公債費比率 (%)	44.0	43.5	43.8	46.9	48.2	48.4	45.4	41.8	40.1	38.8	
流動比率 (%)	336.3	301.9	290.5	262.6	254.1	216.4	186.2	145.8	105.2	88.0	
自己資本構成比率 (%)	57.6	58.4	59.3	60.0	60.8	60.9	61.9	62.0	61.7	61.0	

給水収益／有収水量

・有収水量1 m<sup>3</sup>当りの水道料金収入 …… 2020 (R2) 年度同規模団体値 184円42銭

【供給単価】

【給水原価】 (経常費用－受託工事費等－長期前受金戻入)／有収水量

・有収水量1 m<sup>3</sup>当りの原価 (水道供給に要した費用) …… 2020 (R2) 年度同規模団体値 186円94銭

【経常収支比率】 (営業収益＋営業外収益)／(営業費用＋営業外費用)

・経常費用が経常収益によってどれくらい賄われているか示すもので、100%未満であれば経常損失が発生していることになります …… 2020 (R2) 年度同規模

団体値 110.60%

【公債費比率】 企業債元利償還金／給水収益

・企業債元利償還金に要した給水収益 (水道料金収入) で企業債元利償還金が給水収益に与える影響を分析するための指標です …… 2020 (R2) 年度人口同

規模団体値 28.97%

【流動比率】 流動資産／流動負債

・短期債務に対する支払い能力。100%以上であることが必要であり、100%を下回っていれば不良債務が発生していることとなります …… 2020 (R2) 年度

同規模団体値 326.83%

【自己資本構成比率】 (資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益)／総資本 (負債・資本合計)

・総資本に占める自己資本の割合で財務の健全性を示す指標。事業の安定化にはこの比率を高めていくことが必要とされています …… 2020 (R2) 年度同規模

団体値 69.33%

### 3 下水道事業会計 長期財政計画（財政見通し）

#### 下水道事業会計

##### (1) 収益的収支の状況（損益計算）

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
A. 下水道事業収益	2,662	2,491	3,796	3,643	3,623	3,593	3,426	3,448	3,400	3,390	
うち下水道使用料（※）	768	714	742	743	731	736	740	736	732	727	
うち他会計負担金	10	19	20	19	26	29	28	28	28	35	
うち他会計補助金	1,715	1,645	1,611	1,544	1,539	1,580	1,420	1,413	1,405	1,384	
B. 下水道事業費用	1,540	1,410	3,862	3,526	3,663	3,593	3,426	3,448	3,400	3,390	
うち人件費	73	66	117	106	110	121	110	112	113	115	
うち委託料	620	520	529	555	592	632	604	648	608	608	
うち資本費	495	457	2,795	2,623	2,583	2,453	2,457	2,436	2,429	2,419	
うち維持修繕費	122	142	83	47	88	89	74	73	71	68	
C. 利益or損失=A-B	—	—	△ 66	117	△ 40	0	0	0	0	0	

（単位：百万円）

注：（※）下水道使用料は現行の使用料体系で算定

##### (2) 資本的収支の状況

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
D. 資本的収入	2,054	2,288	1,824	2,248	2,589	1,874	2,064	1,953	2,195	2,109	
企業債	1,445	1,544	1,196	1,521	1,646	1,221	1,377	1,127	1,241	1,150	
補助金	276	385	239	289	497	207	228	283	344	288	
他会計出資金	226	215	307	384	388	400	405	494	566	631	
分担金・負担金	40	45	43	35	37	23	32	27	22	18	
基金取崩金	67	99	39	19	21	23	22	22	22	22	
E. 資本的支出	3,087	3,185	2,769	3,171	3,524	2,839	3,038	2,881	3,138	3,057	
建設改良費	944	903	535	967	1,317	622	821	682	803	693	
企業債償還金	2,112	2,259	2,184	2,173	2,185	2,204	2,216	2,199	2,335	2,364	
基金積立金	31	23	50	31	22	13	1	0	0	0	
F. 資本的収支の差=D-E	—	—	△ 945	△ 923	△ 935	△ 965	△ 974	△ 928	△ 943	△ 948	

（単位：百万円）

(3) 企業債残高と一般会計繰入金 (単位：百万円)

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
G. 借入資本金 (企業債残高)	28,296	27,581	26,593	25,941	25,443	24,460	23,621	22,549	21,455	20,241	
H. 一般会計繰入金	1,951	1,879	1,938	1,947	1,953	2,009	1,853	1,935	1,999	2,050	
a. 収益的収入	1,725	1,664	1,631	1,563	1,565	1,609	1,448	1,441	1,433	1,419	
b. 資本的収入	226	215	307	384	388	400	405	494	566	631	

(4) 業務の状況

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
①水洗化人口 (人)	53,875	53,925	54,213	54,180	53,536	53,028	54,171	53,871	53,582	53,282	
②有収水量 (千m <sup>3</sup> )	4,503	4,570	4,704	4,689	4,633	4,589	4,688	4,662	4,637	4,611	
③水洗化世帯数 (世帯)	17,837	18,162	18,795	19,023	18,800	19,200	19,296	19,200	19,104	18,970	
④職員数 (人)	19	19	21	20	21	21	21	21	21	21	
a 損益勘定職員 (人)	11	11	16	15	16	16	16	16	16	16	
b 資本勘定職員 (人)	8	8	5	5	5	5	5	5	5	5	

(5) 経営分析

	2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	備考
使用料単価 (円・銭)	170.63	156.23	157.74	158.46	157.75	160.29	157.81	157.80	157.78	157.76	
汚水処理原価 (円・銭)	263.88	244.81	214.37	211.04	242.53	251.68	214.09	217.49	220.25	221.84	
経費回収率 (%)	64.7	63.8	73.6	75.1	65.0	63.7	73.7	72.6	71.6	71.1	
汚水衛生処理率 (%)	67.8	69.2	70.5	71.6	73.0	74.3	75.7	77.1	78.4	79.8	
資金不足比率 (%)			-	-	-	-	-	-	-	-	

【使用料単価】

下水道使用料/年間有収水量  
・有収水量1m<sup>3</sup>当りの下水道使用料収入であり、使用料の水準を示します。

【汚水処理原価】

汚水処理費 (公費負担分を除く) / 年間有収水量

・有収水量1m<sup>3</sup>当りの汚水処理費であり、汚水処理費の水準を示します。

【経費回収率】

下水道使用料/汚水処理費 (公費負担分を除く)

・使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを示すので、100%を下回っていれば、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることとなります。

【汚水衛生処理率】

現在水洗便所設置済人口/住民基本台帳人口

・住民基本台帳人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理をしている人口の割合を示す。

【資金不足比率】

・資金の不足額を算定し、その事業の規模に対する割合を算出するものです。なお、資金不足額がなければ資金不足比率は算出されません。